

令和元年度末 人事希望表明制度「公募資料」

公募する教員像

- 1 進学指導、地域との連携事業等の多様な体験活動、課題探究活動の指導に意欲的に取り組むことができる教員
- 2 部活動指導等に熱い意欲と優れた技能を持ち、熱心に取り組むことができる教員
【重点部活動：女子バレーボール、弓道、男子バスケットボール】
- 3 学校の中核として、積極的に学校運営に関わろうとする志を有する教員

『新しい価値を創造できる高校を目指しています』

1 学校沿革概要

大正13年に高崎実践女学校として設立され、昭和22年高崎市立女子高等学校と改称。昭和56年、現在の地、高崎市浜川町へ移転。平成6年、学校改革により、男女共学の高崎経済大学附属高等学校として開校。本年、開校26年目を迎えている。

2 スーパーグローバルハイスクール（SGH）後継事業「TSUBASAプロジェクト」

今年度、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」指定校（アソシエイト）の指定を受けて、これまでのSGH事業（平成26年度から30年度までの5年間）での成果を踏まえ、「TSUBASAプロジェクト」を実施している。

「TSUBASAプロジェクト」は、SGH事業で培ったノウハウを発展・継承し、高大産等の協働により、地域コミュニティを支える「高崎市と世界をつなぎ、地域に貢献できる人材」、「高崎市の特徴を活かしたビジネス起業や環境保護活動等ができる人材」を育成することを目的としている。

3 学校の目指す方向性

「新しい価値を創造できる高校」

グローバル人材育成、地域連携、英語外部検定試験受験、芸術コースや部活動をはじめとする伝統的な取組、生徒会活動など、本校の特徴的な教育活動を通して、一人ひとりが輝く機会を設定し、その活動を通して、自己の目標を明確にし、学習意欲、学力の向上へと発展させて、進路目標を実現する。

4 本校で様々な取組を担当してみませんか？

伸展する進学実績と部活動の活躍。積極的な体験活動や学校での生活に充実感を感じている意欲ある生徒に「学びの真の楽しさ、向上する充実感」を、是非あなたの力で体験させてください。

